

# 2025年度 環境経営レポート

(2024年11月1日～2025年10月31日)

発行日2025年11月5日  
株式会社 さくら樹脂



# 目次

1	・会社概要	P3
	設備紹介・加工事例	P4
2	・環境経営方針	P5
3	・対象範囲	P5
4	・実施体制図及び役割・責任・権限表	P6
5	・環境経営目標	P7
6	・環境経営計画	P8
7	・今年度の環境経営目標の実績と評価	P9
8	・環境経営計画の取組とその評価	P10
9	・次年度環境経営計画	P18
10	・環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反・訴訟等の有無	P19
11	・代表者による全体の評価と見直し・指示	P20

# 1.会社概要

## 株式会社 さくら樹脂

所在地：〒222-0001 神奈川県横浜市港北区樽町4-13-2

代表取締役 若狭尚弘  
設立 1993年2月8日  
資本金 2,000万円  
社員数 39名(他役員3名)  
総床面積 1027m<sup>2</sup>  
事業所数 1(本社のみ)

コーポレートサイト  
<https://sakurajushi.co.jp/>



売上高  
2023年度：52394万円  
2024年度：54944万円  
2025年度：55662万円

【TEL】 045-547-6342  
【FAX】 045-547-5945  
環境管理責任者：中川恭介

取得認証



### ■基本理念

熱意を持って技術・業務改革に努力し、製品とサービスを通じてお客様に安心と喜びを提供します。

### ■経営方針

製品の製造・販売において独自の存在価値を認知される企業となります。

### ■事業内容

#### ・オリジナルアクリル製品の企画・開発・製造・販売

【自社ECサイト】アクリ屋ドットコム <https://www.acry-ya.com/>  
写真や賞状などのフレームケース、コレクションケースなどの他  
最近ではアクリルスタンドなどのグッズ類、レーザー彫刻加工も好評です。

#### ・メーカー向けのエンブラ等高機能樹脂の受託加工

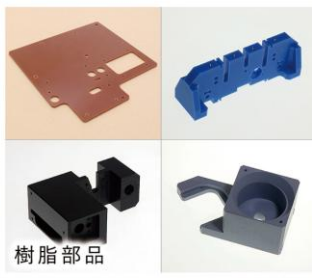
実験用装置ケース・住宅、リフォーム用建材・水質ろ過装置部品  
食品成型器部品・特殊測定器部品・医療機器部品計装用流体機器部品など  
全国から地域を問わずご注文をいただいております。

# 1.設備紹介・加工事例

## 保有設備

機械名称	台数	機械名称	台数	機械名称	台数
マシニングセンター	6	角度鏡面加工機	1	自動カナ盤	1
NCフライス盤	1	万能パネルソー	3	手動カナ盤	3
横型汎用フライス盤	1	横切り盤	1	レーザー加工機	1
NCルーターマシン	2	ルーターマシン	1	UVインクジェット印刷機	1
CNC旋盤	1	高速小型面取機	1	遠赤外線R曲線機	1
NC旋盤	2	面取り機	1	サンドブラスト	1
ドリルセッター	1	熱風循環式乾燥装置	2	ボール盤	3
鏡面加工機	3	アクリル重合装置	1	画像寸法測定器	1

## 提供製品例



## 2.環境経営方針

### 環境方針

株式会社さくら樹脂は、より良い地球環境作りをめざし、プラスチック製品の製造・販売等の事業活動及びプラスチック製品における環境負荷の低減を計り、自主的・積極的に環境経営の継続的改善に取り組みます。

### 環境理念

- 1.省資源・省エネルギー活動を推進します。
- 2.廃棄物排出量を削減します。
- 3.水資源を節約します。
- 4.化学物質を適正管理します。
- 5.環境に配慮した製品の開発と販売をします。
- 6.お客様へプラスチック製品の情報提供を行います。
- 7.環境関連法規などを遵守します。
- 8.地域・社会へ貢献します。

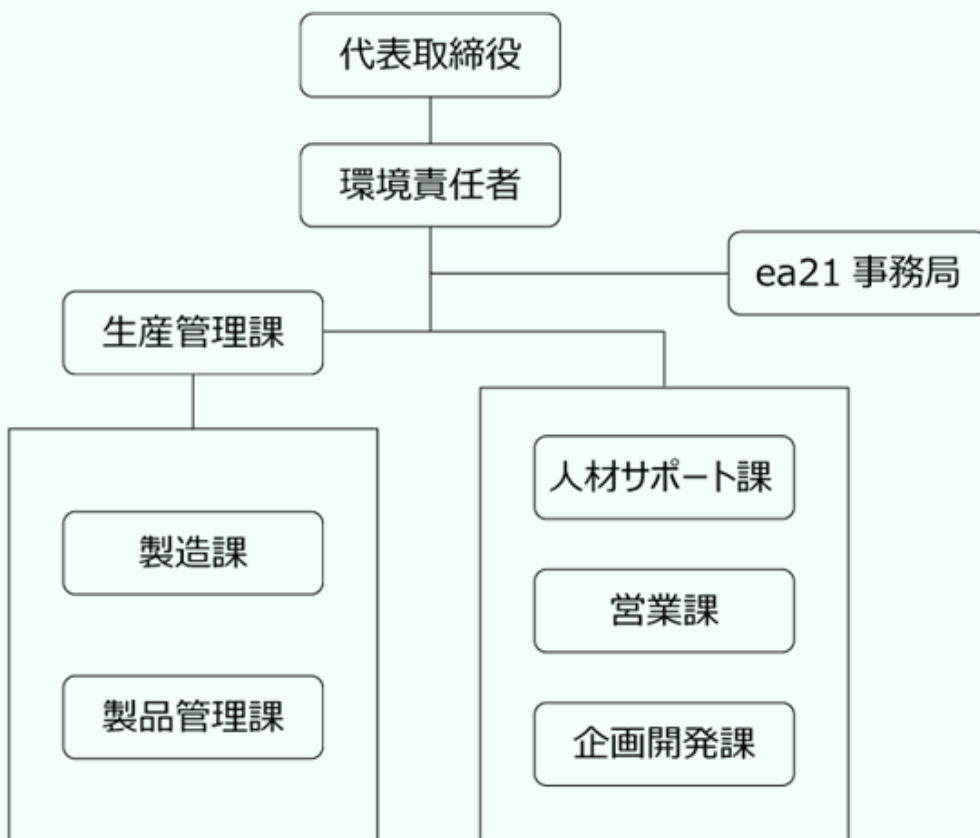
この環境方針を遂行する為に、社員の意識向上を図ると共に、取引先・ホームページ等にも環境方針を公開し、理解と協力を要請します。

2019年12月11日  
株式会社 さくら樹脂  
代表取締役 若狭 尚弘

## 3.対象範囲

登録組織名	株式会社さくら樹脂
対象組織	神奈川県横浜市港北区樽町4-13-2
対象活動	プラスチック部品の受託製造と アクリル製品の企画・製造・販売

## 4.実施体制図及び役割・責任・権限表



代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任を負う。</li> <li>・環境経営方針を策定する。</li> <li>・環境経営目標及び環境経営計画を承認する。</li> <li>・全体の評価と見直し・指示を行う。</li> <li>・環境経営レポートを承認する。</li> <li>・経営資源（人・もの・資金・情報）を用意する。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営目標及び環境経営計画を策定する。</li> <li>・法規制等の要求事項登録簿を承認する。</li> <li>・環境経営計画の取組結果を代表者へ報告する。</li> <li>・環境経営レポートを作成する。</li> </ul>
ea21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境への負荷と環境への取り組み状況を把握し評価を行う。</li> <li>・環境コミュニケーションを実施する。</li> <li>・環境管理責任者を補佐しea21に関する実務全般を所管する。</li> </ul>
各部門部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ea21事務局から環境経営計画に基づき実施した取組の報告を受けて、部門職員に共有する。（毎月）</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営方針及び、実施した取組を理解する。</li> <li>・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加する。</li> </ul>

## 5.環境経営目標

### 定量目標 (3ヶ年計画)

項目	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	
	基準値	今年度目標値 1%削減	中長期目標 1年ごとに「2%→3%→4%」削減			
CO <sub>2</sub> 排出量削減	電力使用量の削減 (kWh)	142,163	140,741	137,927	133,789	128,437
	CO <sub>2</sub> 換算 (kg-CO <sub>2</sub> )	61,557	60,941	59,722	57,931	55,613
	ガソリン使用量の削減 (L)	677	670	657	637	612
	CO <sub>2</sub> 換算 (kg-CO <sub>2</sub> )	1,572	1,556	1,525	1,479	1,420
	CO <sub>2</sub> 換算 (kg-CO <sub>2</sub> ) 合計	63,129	62,497	61,247	59,410	57,034
廃棄物	一般廃棄物の削減 (kg)	3,624	3,588	3,516	3,411	3,274
	産業廃棄物の削減 (kg)	14,400	14,400	14,400	14,400	14,400
	水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	456	456	456	456	456
	化学物質使用量の削減 (kg)	221	221	221	221	221
	生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	実施	実施	実施	実施	実施
	社会貢献活動	実施	実施	実施	実施	実施

二酸化炭素排出係数0.433kg-CO<sub>2</sub>/kWh(九電みらいエネルギー調整後排出係数による)

※目標設定時点では2022年度指標の0.433を採用。今年度実績は2025年度指標の0.487を採用

・産業廃棄物は切削加工時の切粉(切りくず)がメインとなり、様々なプラスチックを加工するため切粉が混ざりリサイクルができません。また切削加工の受注が多いほど切粉は増える可能性があるため同数値とします。

・化学物質使用量については、メインで使用する「MMAモノマー」は「アクリル封入加工」で使用するため、受注が増加傾向のため削減の数値ではないが、的確な量を使用していく。

・水の使用量は、必要最低限の使用のみ(主にトイレ・手洗い)のため、これ以上増やさない目標で設定とした。

# 6.環境経営計画

## 活動内容と担当者【2025】

活動内容	日程	担当・管理者
<b>二酸化炭素排出量の削減</b>		
<b>1.電力使用量の削減</b>		
・デマンドコントロールシステムによる電力の削減	通年	担当：全社員 管理：人財サポート課
・休憩時間は、工場及び事務所の消灯を実施	通年	
・エアコン使用は夏は28℃、冬は20℃の室温で設定	夏季/冬季	
・エアコンをフィルターの洗浄（1回/月）、遮光カーテンの設置	通年	
・パソコン、コピー機等を使用しない時、帰宅時は電源を切る	通年	
・クールビズ・ウォームビズを推奨する	通年	
<b>2.自動車燃料使用量の削減</b>		
・燃費向上のため、経済的な運転を心掛ける（ふんわり発進の実践）	通年	担当管理：営業課
・空気圧など給油時に定期点検を行う	通年	
・営業車の日常点検及び運行日報の作成	通年	
・外出時は公共機関を利用をする	通年	
<b>水使用量の削減</b>		
・節水の表示	通年	担当：全社員 管理：人財サポート課
・朝礼時等での声掛けを継続する	通年	
<b>廃棄物の削減</b>		
<b>1.一般廃棄物の削減</b>		
・ゴミの分別、リサイクルを行う	通年	担当：全社員 管理：ea21事務局
・印刷する際、プレビューで確認後印刷	通年	
・電子メディア・会議等のプロジェクター利用によるペーパーレス化に取り組む	通年	
・リサイクル製品の使用や、購入を推進する	通年	
・詰替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品などの長期使用を進める	通年	
<b>2.産業廃棄物の削減</b>		
・廃プラスチックの分別の徹底	通年	担当：製造課 管理：生産管理課
・廃棄物の再利用	通年	
・不良率の削減	通年	
<b>化学物質使用量の削減（適正量使用）</b>		
・薬品表示をはっきり記入し使用間違いを防ぐ	通年	担当：製造課 管理：社長（重合作業者）
・使用量の間違いを防ぐ為電子計量器を使用する	通年	
<b>生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善</b>		
・環境配慮製品の開発・販売	通年	担当：全社員 管理：企画兼営業課
・改善提案活動にて作業の無理・無駄・ムラを無くし効率よく作業を行う	通年	
・オンラインショップ「アクリ屋ドットコム」のサービス追加・改善	通年	
<b>社会貢献活動</b>		
・社内5S活動、会社周辺の清掃など美化活動を推進する	通年	担当：全社員 管理：人財サポート課
・子ども110番受け入れ	通年	
・緊急時のAEDの提供	通年	
・地域イベントの参加	随時	

## 7.今年度の環境経営目標の実績と評価

### 実績数値 【2025】

項 目		基準値 (2024年度実績)	2025年度 目標	2025年度 実績	昨対比	評価
二酸化炭素の排出量の削減 (kg-CO <sub>2</sub> )		63,129	62,497	66,436	105.2%	×
電力使用量の削減 (kWh)		142,163	140,741	134,512	94.6%	○
ガソリンの削減 (ℓ)		677	670	400	59.1%	○
廃棄物	一般廃棄物の削減 (kg)	3,624	3,588	3,286	90.7%	○
	産業廃棄物の削減 (kg)	14,400	14,400	14,400	100.0%	○
水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )		456	456	521	114.3%	×
化学物質使用量の削減 (k g)		221	221	187	84.6%	○
生産・販売・提供する製品の 環境性能の向上及びサービス改善		実施	実施	実施	実施	○
社会貢献活動		実施	実施	実施	実施	○

#### 【二酸化炭素の排出係数について】

電力：0.487 kg-CO<sub>2</sub>/kWh (九電みらいエネルギー：令和7年指標)

ガソリン：2.322 kg-CO<sub>2</sub>/ℓで算出

# 半期・四半期実測数値【2025】

## 2025年度環境経営計画・実施状況評価

承認	作成	追記
2025/11/5	2025/11/5	
若狭	中川	

基準年度：2024年度

評価 ○：達成 ×：未達

□：計画 ■：実施

No	項目	年度目標 (2025年度)	達成手段	2024年		2025年										責任者						
				11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月							
1	二酸化炭素排出量の削減  ※九電みらいエナジー 排出係数=0.487kg-CO2	63129 kg ↓ 62497 kg	・電力、化石燃料使用量の削減	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	中川				
			・社有車の適切な使用	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■			
			・機械の効率的な使用	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			・残業時間の制限（1日最大1時間まで）	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			計画排出量累計 (kg)																			
			実績排出量累計 (kg)																			
			四半期評価																			
半期評価																						
1.1	電力使用量の削減	142163 kWh ↓ 140741 kWh	・デマンドシステムの活用	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	中川				
			・不良の削減、不適合会議の実施	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■			
			・エアコン温度設定最適化	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			・遮光ネットの活用	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			計画電力使用量 (kWh)																			
			実績電力使用量 (kWh)																			
			同 累計 (kWh)																			
四半期評価																						
半期評価																						
1.2	自動車燃料使用量の削減	677 L ↓ 670 L	・アイドリングストップ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	坂根さん				
			・給油時のタイヤ点検	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■			
			・不要荷物の積込削減	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			・運行記録の励行	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			計画燃料使用量 (ℓ)																			
			実績燃料使用量 (ℓ)																			
			同 累計 (ℓ)																			
四半期評価																						
半期評価																						
2	廃棄物排出量の削減 (一廃排出量)	3624 kg ↓ 3588 kg	・分別廃棄の徹底	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	中川				
			・両面コピー、プレビューの実行	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■			
			・プロジェクターの使用	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			・ダンボールの回収	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			・紙ごみの再利用	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			計画排出量累計 (kg)																			
			実績排出量 (kg)																			
同 累計 (kg)																						
四半期評価																						
半期評価																						
3	水使用量の削減 (水使用量)	456 m <sup>3</sup> ↓ 456 m <sup>3</sup>	・節水表示と声掛け	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	中川				
			・温水器の使用制限 (冬季12月～3月のみ使用)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			計画使用量累計 (m <sup>3</sup> )																			
			実績使用量 (m <sup>3</sup> )																			
			同 累計 (m <sup>3</sup> )																			
			四半期評価																			
			半期評価																			
4	化学物質の適切な使用と 適量の補充	221 kg ↓ 221 kg	・薬品表示をはっきり記入し使用間違いを防ぐ	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	若狭社長				
			・計量器具を必ず使用し間違いを防止する 1缶 MMA17kg	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■		
			実績購入量 (kg)																			
			同 累計 (kg)																			
			四半期評価																			
			半期評価																			
			5	環境負荷の少ない工法を提案・採用	20 件 ↓ 20 件	・改善提案書の提出件数	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■	■	■	加山チーフ
提出件数目標																						
単月採用回数 (回)																						
累計 (回)																						
四半期評価																						
半期評価																						
No	評価・確認 月日	評価・確認者				評価・確認事項 (定期、臨時)	評価・確認結果、コメント、是正処置等															
1	2024年11月～2025年10月	中川	毎月の月例会議で各数値の実績報告	本年も年間で月例報告をもなく継続した。都度外部指導員からの助言をいただいた。																		
2	2025年8月～9月	中川	電力使用量削減の未達 (臨時)	エアコンを新調したにもかかわらず電気使用量が増大した。温度設定が原因と考える。今年には特殊な猛暑だったことにも起因しているが、エアコンに頼る温度管理以外に空調着衣や遮光、空気循環の物理的工夫を検討する。																		
3	2025年10月	中川	水使用量増加について水道局に確認 (臨時)	特に漏水や劣化による事象は確認できないとのこと。水流抑制の蛇口アタッチメント等を検討。																		
4	2025年10月	中川	評価項目 (化学物質の使用定量測定) の妥当性再検討	単純に「化学物質使用量が減った = 正」との解釈は合理性に乏しく、重要なものは適切管理である。その点で社長と協議し、使用量の管理方法を見直すこととした。後日手順書を発行予定。																		

## 8.環境経営計画の取組とその評価

### 電力使用量削減 【2025】

項目	基準値 (2024年度実績)	2025年度 目標	2025年度 実績	評価
電力使用量の削減 (kWh)	142,163	140,741 (目標比) 95.3%	134,152 (昨対比) 94.4%	Good

例年にも増して猛暑が著しい夏場だったが、6月にエアコンを6台新調した効果もあり適切な電気設備の使用を継続できた成果が表れた。  
また、全社残業時間が前年比65%程度に押さえられたこともあり、生産性を高めつつ unnecessaryな設備稼働を減らすことで電力使用も軽減できている。

活動内容	評価
・デマンドコントロールシステムによる電力の削減	○
・休憩時間は、工場及び事務所の消灯を実施	○
・エアコン使用は夏は28℃、冬は20℃の室温で設定	△
・エアコンをフィルターの洗浄（1回/月）、遮光カーテンの設置	○
・パソコン、コピー機等を使用しない時、帰宅時は電源を切る	○
・クールビズ・ウォームビズを推奨する	○

#### TOPIC

- ▶ (6月) エアコン6台新調
- ▶ (9月) エアコン3台業者による清掃 → 下記写真
- ▶ (10月) 老朽化設備を廃棄、新型設備を導入し  
電力消費効率・生産性の改善



ただし、電力使用量は減っていてもCO2排出換算量は増えており目標数値も未達の結果になったことを厳粛に受け止める必要がある。「電気料金」面だけで単視眼になるのではなく環境負荷に配慮した電力供給業者の選択も再考の必要あり。

## 8.環境経営計画の取組とその評価

### ガソリン使用量削減【2025】

項目	基準値 (2024年度実績)	2025年度 目標	2025年度 実績	評価
ガソリンの削減 (ℓ)	677	670 (目標比) 62.4%	418 (昨対比) 61.7%	Excellent

旧来の運送委託業者が事業縮小したため、一定の自社輸送が前年度より発生したが、結果として大幅なガソリン消費量減少となった。

営業巡回等は最小限にとどめ、輸送時も一度の往復で近隣企業様・訪問先をまとめて回れる巡回ルートやスケジュールを工夫するなど細かい努力が数字に表れた。

活動内容	評価
・燃費向上のため、経済的な運転を心掛ける（ふんわり発進の実践）	○
・空気圧など給油時に定期点検を行う	○
・営業車の日常点検及び運行日報の作成	○
・外出時は公共機関を利用をする	○

### 水使用量削減【2025】

項目	基準値 (2024年度実績)	2025年度 目標	2025年度 実績	評価
水使用量の削減 (m <sup>3</sup> )	456	456 (目標比) 115.4%	526 (昨対比) 115.4%	failed

2024～2025年度採用人員4名（退職1名）と要員の純増があったため、一定の水使用増加は仕方ない範囲と解釈できる。加工に多量の水を使う業種でもなく、清掃やトイレ、花壇の手入れ等に使用する程度なので、今後も不要な浪費を防ぐよう継続的な働きかけを行う。

活動内容	評価
・節水の表示	○
・朝礼時等での声掛けを継続する	○

## 8.環境経営計画の取組とその評価

### 一般廃棄物排出量削減 【2025】

項目	基準値 (2024年度実績)	2025年度 目標	2025年度 実績	評価
一般廃棄物の削減 (kg)	3,624	3,588 (目標比) 91.6%	3,286 (昨対比) 90.7%	Good

分別廃棄や廃棄物削減のための軽装パッケージ品の購入等は継続的な活動により浸透しているため、今年度の数字にも効果が表れている。  
一方、紙文化からのパラダイムシフトの遅れや「エコ製品よりも単価比較で購入備品等を選ぶ」といった通念がまだ根深く、環境負荷配慮への意識啓発はまだ道半ばである。

活動内容	評価
・ゴミの分別、リサイクルを行う	○
・印刷する際、プレビューで確認後印刷	○
・電子メディア・会議等のプロジェクター利用によるペーパーレス化に取り組む	○
・リサイクル製品の使用や、購入を推進する	○
・詰替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品などの長期使用を進める	○

### 産業廃棄物排出量削減 【2025】

項目	基準値 (2024年度実績)	2025年度 目標	2025年度 実績	評価
産業廃棄物の削減 (kg)	14,400	14,400 (目標比) 100.0%	14,400 (昨対比) 100.0%	Passable

加工材の廃棄の大部分が実質的に産廃として処分量になるので、歩留まりや不良率を改善しないと廃棄は減らない。  
特に量産ではなく少ロット対応が多い中で不良再加工が発生すると廃棄素材だけでなく加工時間のロスも大きく生産性低下、エネルギー消費ロスに繋がるため改善が必要。

活動内容	評価
・廃プラスチックの分別の徹底	○
・廃棄物の再利用	○
・不良率の削減	×

## 8.環境経営計画の取組とその評価

### 化学物質使用量削減【2025】

項目	基準値 (2024年度実績)	2025年度 目標	2025年度 実績	評価
化学物質使用量の削減 (kg)	221	221 (目標比) 84.6%	187 (昨対比) 84.6%	
<p>受注量に相関するので少なければ良いというものでもないので数値管理は参考にすぎない。 むしろ受注量が継続することが事業として重要。 無駄な利用を減らすことが自社としてできることである。</p>				

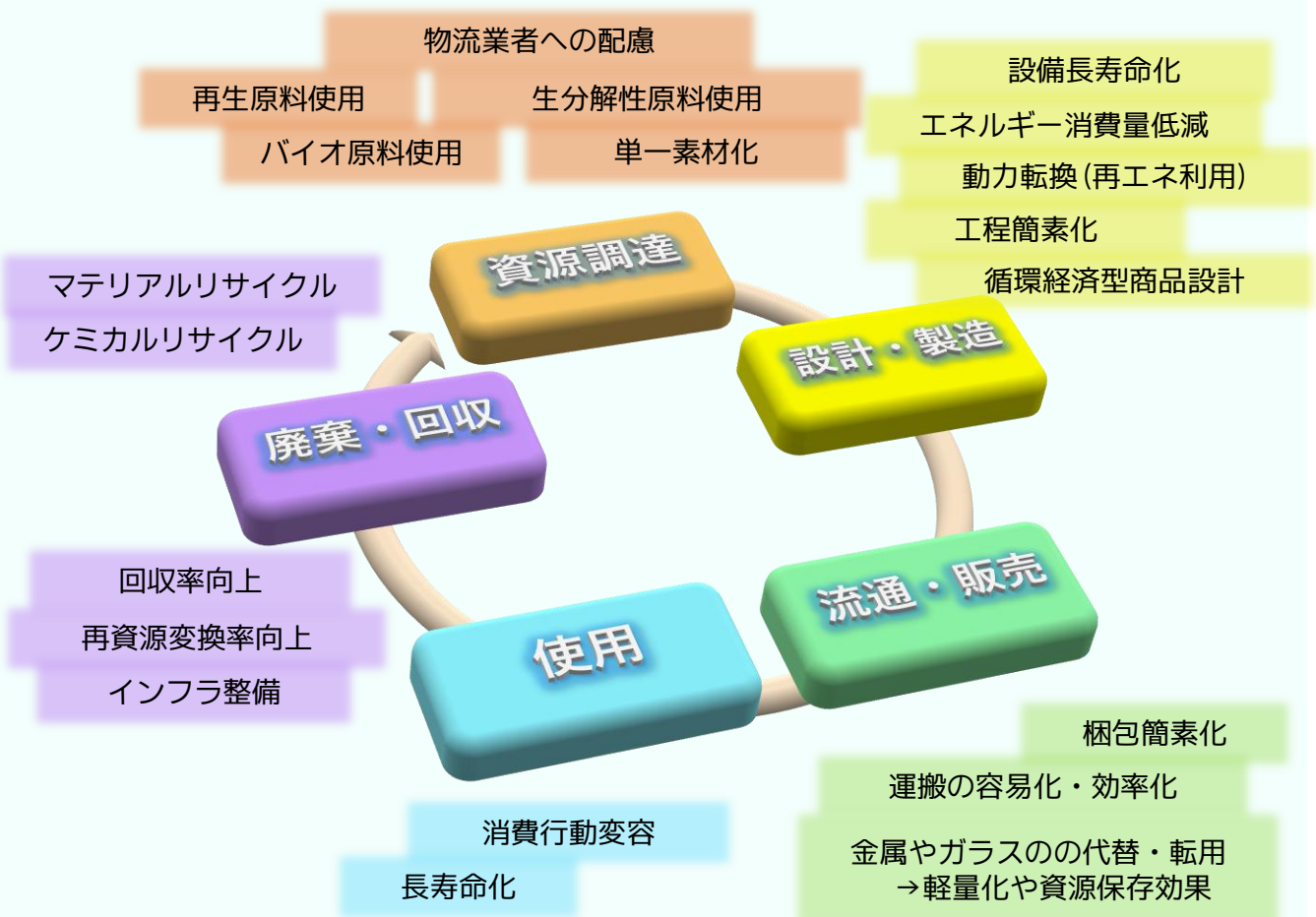
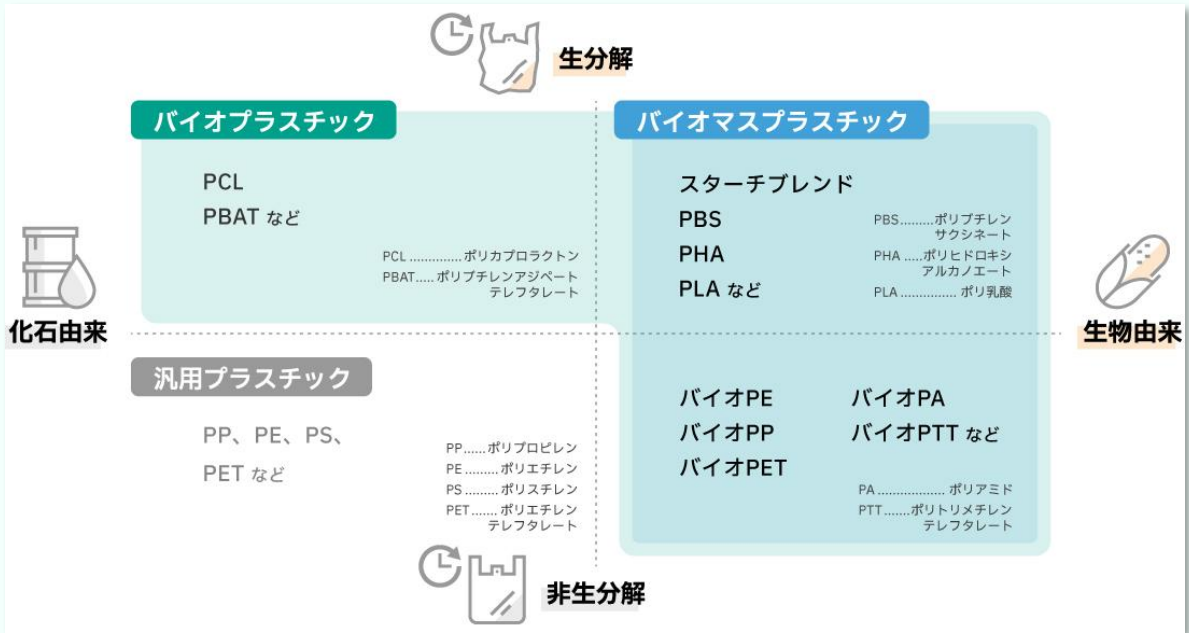
活動内容	評価
・薬品表示をはっきり記入し使用間違いを防ぐ	○
・使用量の間違いを防ぐ為電子計量器を使用する	○

### 生産・販売・提供する製品の環境性能の向上 及びサービスの改善【2025】

項目	基準値 (2024年度実績)	2025年度 目標	2025年度 実績	評価
生産・販売・提供する製品の 環境性能の向上及びサービス改善	実施	実施	実施	Passable
<p>プラスチックは客観的一般論として環境保全と対立軸に置かれることが多い。 一方でプラスチックの素材自体が生分解性由来のものや再生原料によるものなどが一般化しつつあり、 こうした切り口の製品分野開拓や製造を推進することは一つの環境配慮型事業モデルとなる。 当社がこの分野の活用においてはまだ未成熟なため、この点は改善余地がある。 また、原料ベース以外にもライフサイクルアセスメントとして 「加工過程の生産性改善(加工コスト削減)」「長寿命化(消費量を減らす)」「市場の消費行動変容への啓発」 「消費者のリサイクル促進への能動的活動」「他の重厚素材製品からの代替素材としてのプラスチック活用 (ガラスや鉄よりもライフサイクル上の環境負荷は小さい)」 といった点を多角的に捉え、自社の開発や情報発信をしていくことが会社としての立ち位置と考える。 来年以降の中長期的なテーマとして全社単位で意識を高めたい。</p>				

活動内容	評価
・環境配慮製品の開発・販売	△
・改善提案活動にて作業の無理・無駄・ムラを無くし効率よく作業を行う	△
・オンラインショップ「アクリ屋ドットコム」のサービス追加・改善	○

# 8.環境経営計画の取組とその評価



# 8.環境経営計画の取組とその評価

## 社会貢献活動 【2025】

項目	基準値 (2024年度実績)	2025年度 目標	2025年度 実績	評価
社会貢献活動	実施	実施	実施	Good

企業の本業外の社会的活動志向は現代の会社に対する評価として重要な要素を占める。当社は、日頃よりご理解ご協力をいただいている近隣・地域社会への貢献と共に、ネットショップを通じて全国の一般のお客様向けの製品販売をしている立場としてトレーサビリティや情報発信を一層高めていけるよう意識的な活動を行う。

今年度はコーポレートサイトを刷新し自社でいつでも情報更新ができるプラットフォームを採用したほか、販売したアクリル製品がお客様の手元で不要となった際のリサイクル回収サービスを周知したり、自社の日常活動をSNSやブログで情報発信することにも注力を始めている。

新年度も市内の高校の文化祭に企業の活動紹介として出展したり、港北区の試みである子供向け工場体験イベント（オープンファクトリー）に参加し、より一層「地域の中の企業」として誇れる会社であるべく活動を拡大していく。

活動内容	評価
・社内5S活動、会社周辺の清掃など美化活動を推進する	○
・子ども110番受け入れ	○
・緊急時のAEDの提供	○
・地域イベントの参加	○

### TOPIC

- ▶ 毎日担当制の地域清掃活動を継続
- ▶ (4月・5月) 港北オープンガーデン参加
- ▶ (10月) コーポレートサイトリニューアル
- ▶ (11月) 横浜市釜利谷高校文化祭に  
企業活動紹介の出展



## 8.環境経営計画の取組とその評価

### その他の本年活動 【2025】

#### TOPIC 安全衛生活動の刷新

- ▶ (5月) 安全衛生推進者新規設置  
安全衛生管理規定新設
- ▶ (6月) 熱中症対策啓発活動
- ▶ (8月) 大掃除の年2回実施開始  
メンタルヘルス等に関する全社講習実施
- ▶ (10月) 社内ハザードマップ新規作成

#### TOPIC 最新法令・BCP啓発・メンタルヘルス等に関する全社講習実施

#### TOPIC コーポレートサイトを改修 社内で制作から運用まで一元管理(外注なし)

- ▶ (4月) 新コーポレートサイト構築始動
- ▶ (9月) セキュリティ、SEO関連の調整
- ▶ (10月) 公開・稼働開始

#### TOPIC 年賀状廃止

#### TOPIC ブログ・SNS情報発信の拡充

- ▶ ブログ年間投稿数 2024年12件→2025年47件

#### TOPIC 新規認証取得にチャレンジ

- ▶ (5月) かながわ健康企業宣言 認証決定
- ▶ (7月) 横浜グッドバランス企業 申請(結果待ち)
- ▶ (10月) 健康経営優良企業 申請(結果待ち)

#### TOPIC 作業動作分析のIE手法で改善検討を推進

#### TOPIC 自社配送の効率的ルート運行を意識強化

## 活動内容の見直しと主管【2026】

活動内容	管理時期	管理手法
<b>生産性の見直し【定性】</b>		
主管：人材サポート課		
・改善提案活動にて作業の無理・無駄・ムラを無くし効率よく作業を行う	毎月	改善提案/QMS報告
・(新) 各環境測定物質に対する原単位管理を追加	毎月	QMS報告/掲示
・(新) AI活用改善をカウント	毎月	改善提案/QMS報告
・(新) 作業動作分析手法による生産効率改善	毎月	QMS報告
・(新) 人時生産性の測定・公表	毎月	QMS報告/掲示
・(新) リモート勤務をローテーションで実験導入(制度化)	2026年中	規則整備/勤怠管理
<b>生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善【定性】</b>		
主管：企画開発課		
・環境配慮製品の開発/販売、オンラインショップ「アクリ屋ドットコム」のサービス追加・改善	随時	QMS報告
・(新) 材料仕入れにおける近隣工業圏からの購入比率を数値化・公表	毎月	CSR月報
・(新) 納期変更件数(比率) 把握システム策定	2026年中	QMS報告
・(新) アクリルリサイクルの仕組み化推進	2026年中	運用整備/公開
<b>二酸化炭素排出量の削減</b>		
1.電力使用量の削減【定量】		
主管：人材サポート課		
・エアコン使用は夏は28℃、冬は20℃の室温で設定/クールビズ・ウォームビズを推奨する	夏季/冬季	安全パトロール時記録
・電気使用量公表/デマンドコントロールシステムによる電力の削減	毎月	QMS報告/掲示
・(新) 残業時間削減 実績数値報告	毎月	QMS報告/掲示
・(新) 改善成果の時間換算集計制度新設	毎月	QMS報告/掲示
・(新) 不良率(数量ベース) 管理の新設	毎月	QMS報告/掲示
2.自動車燃料使用量の削減【定量】		
主管：営業課		
・社有車の日常点検及び運行日報の管理(空気圧点検実施チェックを追記)	毎月	利用記録
・(新) 共用自転車の設置 → 使用距離把握	2026年中	規則整備/利用記録
<b>廃棄物の削減</b>		
1.一般廃棄物の削減【定量】		
主管：環境責任者		
・(新) 脱紙業務 給与明細・申請稟議文書類・議事書類など電子化(紙購入量公表)	毎月	QMS報告/掲示
・リサイクル製品の使用や購入を推進する	随時	QMS報告
2.産業廃棄物の削減【定量】		
主管：生産管理課		
・廃棄物の再利用(廃材活用/廃材セット販売件数報告制度新設)	2026年中	CSR月報
・不良率(件数ベース) / 歩留まりの改善(2軸の不良管理=「事象の解決」「ロス」の把握)	毎月	QMS報告/掲示
<b>水使用量の削減【定性】</b>		
主管：環境責任者		
・水使用量公表/節水の表示励行	毎月	QMS報告
<b>化学物質使用量の適正使用と管理【定性】</b>		
主管：環境責任者		
・(新) 期間を定めその期間の期首→期末の在庫量測定により入りと出を管理	毎月	作業の記録
<b>社会貢献活動【定性】</b>		
主管：人材サポート課		
・社内5S活動、会社周辺の清掃など美化活動を推進する	毎月	実施記録
・子ども110番受け入れ/緊急時のAEDの提供	随時	CSR月報
・地域イベントの参加	随時	総務議事録

### 今年度から削除した管理指標

事業体としての管理視座に満たないもの、社会人モラリティレベルのものは削除・統合した。

#### 電気

- ・デマンドコントロールシステムによる電力の削減
- ・休憩時間は、工場及び事務所の消灯を実施
- ・パソコン、コピー機等を使用しない時、帰宅時は電源を切る
- ・エアコンをフィルターの洗浄(1回/月)、遮光カーテンの設置

#### ガソリン

- ・燃費向上のため、経済的な運転を心掛ける(ふんわり発進の実践)
- ・外出時は公共機関を利用をする

#### 廃棄物

- ・ゴミの分別、リサイクルを行う(ゴミ袋はいっぱいになってから交換する)
- ・印刷する際、プレビューで確認後印刷
- ・詰替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品などの長期使用を進める
- ・廃プラスチックの分別の徹底

# 10.環境関連法規等の遵守状況確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

## 適用される主な環境関連法規等の一覧

法規名	該当する要求事項（対応すべき事項）	遵守状況	訴訟の有無
廃棄物処理法	委託事業者による廃棄物の適正処理	○	なし
	収集運搬・処分業者との契約	○	なし
	マニフェストの管理	○	なし
騒音・振動規制法	特定施設の届出	○	なし
	規制基準遵守	○	なし
フロン排出抑制法	フロン類の適切な処理・エアコンの日常点検	○	なし
	回収・破壊の工程の確認	○	なし
消防法	防火管理者の選任	○	なし
	消火設備等の設置及び維持	○	なし
	指定数量未満の危険物、指定可燃物の貯蔵、取扱等の技術基準	○	なし
安全衛生法2024.4.1 (有機溶剤中毒予防規則)	換気装置の設置	○	なし
	有機溶剤作業主任者	○	なし
	定期自主点検	○	なし
	注意掲示板	○	なし
	特殊検診	○	なし
	環境測定 第65条第1項（有機則第28条第2項）	○	なし
	化学物質管理者選任	○	なし
	安全衛生推進者選任	×→○	なし
	保護具着用管理責任者選任	×→○	なし
	特化物管理掲示	×→○	なし
NOx・PM法 リサイクル法	対策地区内で排気ガス規制に適合した自動車の使用	○	なし
	自動車リサイクル法	○	なし
グリーン調達基準	出来る限り環境配慮物品等を選択する	△	なし

2025年10月20日の労働基準監督署抜き打ち調査にて

上記【特化物管理に関する掲示】【作業記録保管】がない旨改善指導をいただきました。

直ちに対処し、現在は必要化学物質に対してもれなく掲示しています。

2023年法改正で掲示が義務化されましたが、以前からの従事者、総務管理者は会社として認識が不足していたようで外部技術指導者も指摘できていませんでした。

その他、2025年10月時点の関係法令に対する適合状況を調べ、問題がないことを確認しております。

また、利害関係者から訴訟・苦情は過去3年間ありません。

# 11.代表者による全体の評価と見直し・指示

## 総括

2025年(33期)は売上微増したが利益は昨年を若干割る形となった。要因として昨年から続く半導体関連の切削需要減少、物価高による個人消費低迷による購入減が大きく響いた。プラスとしては33期初旬から始めた印刷セミオーダーは¥500万強(全体1%)と特注合わせて¥1000万強(全体2%)アップと明るい展望も見られる。

目標実績数値として電気代、二酸化炭素排出は減少が見られるが、業務共有による偏りのある残業を減らす事が功を奏した様に見える。但し、直近は水処理関連装置の需要急増により一部機械と担当に負荷が掛かっている為、協力会社転換と人員教育が必要である。

法改正による化学物質管理に関しては担当者を配置し重点的に進めている。知識面で不十分な点は外部研修等で補いながら改善を進める。

自社HPをリニューアルし各種取組を広報する体制を構築。直近ではSDGS活動の一環として不要なアクリルリサイクルを開始予定である。

## 見直し・変更の必要性の有無・指示事項

環境経営方針	変更の必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
環境経営目標及び環境経営計画	変更の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
内容	
資源：33期はマシニングセンター1台を増設。中古機ではあるが現行機の為省エネにも寄与。印刷需要に対応する機械検討。引き続き老朽化した機械の入替。	
人財：現在は旋盤部門1名退職後募集中。同旋盤に関しては社内教育により作業担当者を増やす。その他、社内外注により納期対応で失注する業務に対して重点的に進める。	
環境：近年温暖化による夏の電気量増加は一定やむを得ない。老朽化したエアコンは随時入れ替え。特定化学物質を適切に使用管理していく。	
実施体制	変更の必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

2025年11月5日  
株式会社 さくら樹脂  
代表取締役 若狭 尚弘